

「フォーレの歌曲とラヴェルのピアノ曲」

2020年12月12日(土) 15時開演 プリモ芸術工房

今回の試演会、私はフォーレ最晩年の歌曲集を研究しました。もっとも難しかったのは中音域の良い声とは？という命題でした。つまり良い音程で人の耳に心地よく感じる私の歌声とはどのようなものか？という点をさらうには、フォーレの特に晩年の歌曲はうってつけだ、ということです。

逆に言えば、この命題にとってそれくらいこのフォーレの歌曲は難しいということです。

一方、石元さんが研究してくれたラヴェルは、フォーレの弟子でした。

ラヴェルがフォーレから教わった大事なことは、古典的な音楽の形式を守る中で自由に作品を作ることでした。今回の「クーブランの墓」でバロック音楽時代の舞曲形式によるクラブサン作品に倣ったピアノ曲を作ったことは、彼のピアノ音楽の作曲上の集大成と言えるでしょう。

1, ピアノ独奏 クーブランの墓「前奏曲」

2, 歌曲集「幻影」 詩：ブリモン男爵夫人

水上の白鳥
水中の反映
夜の庭
踊り子たち

休憩

3, ピアノ独奏「クーブランの墓」フーガ フォルラーヌ

4, 「閉じられた庭」詩：シャルル・ヴァン・レルベルグ

願いの成就
あなたが私の目を見つめるとき
使者
あなたの心に留まるだろう
ニンフの神殿
薄明りの中
愛の女神はたいせつな目隠し
砂の上の墓碑銘

5, ピアノ独奏 「クーブランの墓」リゴードン

休憩

6, ピアノ独奏「クーブランの墓」メヌエット トッカータ

7, 歌曲集「幻想の水平線」 詩：ジャン・ドラヴィル・ド・ミルモン

海は果てしなく・・・
船に乗って
月の女神セレネー
船たちよ